

JB Customer Report

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

お客様の
ご紹介

一之宮町まちづくり協議会様

2019年3月にLX-10000Fを導入した一之宮まちづくり協議会の小瀬様に、実際に機械を使用した感想等をお伺いいたしました。

カラーを使った印刷物の増加を見据えてLXを導入

一之宮まちづくり協議会は、一之宮町公民館内に併設されており、印刷物に関してはまちづくり協議会だけでなく公民館全体として印刷が非常に多いです。特に印刷部数の多いのが協議会内で発行している広報誌です。A3サイズの見開き両面印刷（A4小冊子）で毎月800枚印刷をしているので約9,600枚以上のカラー印刷を行っています。レーザー機での印刷はコストが高く印刷に時間がかかるため、協議会内で課題となっていました。そして広報誌は写真やイラストが多く解像度の高い印刷が求められるため、コストが高いレーザー機での印刷以外に選択肢がない状況でした。しかしEPSONのインクジェット機で、「速い・安い・綺麗」の3拍子がそろったLXの紹介を受け、カラー印刷でのコスト面と印刷品質から、LXを導入しました。

導入後、広報誌の作成は格段に進化を遂げ、カラー印刷はレーザー機と遜色ない品質を維持しながらも、インクジェット特有の温かみがプラスされ、発色の良さも相まって、町の賑やかな様子がより伝わっている印象があります。制作に関しても、印刷スピードが従来に比べ約3倍となったため、デザイン→LXで高速印刷→紙折り機で紙折までを協議会で内製化出来るようになり、カラー印刷のコストダウンにプラスして外注分のコストが抑えられています。また広報誌以外にも会議資料もカラーで印刷するようになり、LX導入で「カラーが気兼ねなく」印刷できるようになり、カラー印刷が身近になりましたね。他にもチラシの印刷があり、月間10,000枚以上はLXで印刷していますが、大量印刷にも対応しているLXは非常に重宝しています。現在は広報誌や資料などの印刷がメインですが、今後は夏祭りなどの単発イベントの開催チラシなどにも頻繁にLXを利用できたらと考えています。



コストや作業時間の削減はもちろん、環境にも配慮の出来るLX！

広報誌や資料などのデザインから印刷・紙折加工までが内製化出来たことについては、大きくコストや作業時間の削減に繋がっています。インクジェット＝印刷スピードが遅いというイメージがありましたが、1分間に100枚の印刷スピードを見るとイメージが払拭されますね。インクジェット機特有の印刷後の用紙波打ちと印刷のにじみなども、LXではまったく気にならないですね。インクジェット機に変えたことにより、写真などの印刷物のテカリもなくなったので、印刷のイメージが良くなったと思います。

熱を使わないインクジェットは環境に対して消費電力やCO2排出量を抑えられることに加え、空ボトルもメーカーが回収しリサイクルしていると聞いていますので、昨今話題となっているSDGsに対して機器導入で環境負荷が軽減できているので、導入してよかったと実感しています。あらゆる用紙への印刷対応力も高いので、LXで印刷できるものは印刷を集約させ、コスト削減とともに環境にも貢献していけたらと思います。

営業担当者の声

地域の様子を伝える広報誌やイベントチラシなど、町の活動を伝える様々な印刷物をLXを活用して広めており、嬉しく思います。



営業担当：小瀬 慎二

今後もよりカラー印刷を取り入れた、お客様の先にいる読み手の方々にも伝わりやすい印刷の応用などもアドバイスさせていただけたらと思います。